

<h1>SDT</h1>	<h2>制振工学研究会通信</h2> <p>SOCIETY OF DAMPING TECHNOLOGY NEWS</p> <p>2009年11月号</p>	<p>2009年11月 1日発行 編集：会報編集委員会 編集責任者：小白井 敏明 担当者：立石 覚 URL http://www.sdt-jp.com E-Mail: sdt@mbi.nifty.com</p>
--------------	---	---

◇お知らせ

・本通信により会員各位に有用な情報を提供すべく毎月の編集会議では頭を悩まして議論しております。つきましては、ここで取り上げてほしい事がございましたらそのご要望を次のアドレスまで是非お寄せください。

E-MAIL: yamagu@pc.highway.ne.jp

◇研究会の行事案内

開催日時	開催地・会場	名 称	内 容
09.12.11 9:00~19:00	中小企業会館 9F. 講堂	定例会	2009年度技術交流会・懇親会

◇委員会・分科会・WGの予定

開催日時	開催地・会場	名 称
09.11.05-06 10:00~17:00	日東紡音響E、第2音響研究所	利用技術分科会、建築WG、実験
09.11.13 13:00~17:00	スペクトリス(株) 会議室C	計測・評価技術分科会、粘弾性特性比較検討WG
09.11.19 14:00~17:00	リオン(株) 会議室	会報編集委員会・ホームページWG、会報編集委員会

◇会員消息 (2009年11月 1日現在)

○会員数		○入会者
法人会員	35 社	古河電気工業(株)
個人会員	58 人	—

◇関連学協会等の行事案内

開催日	開催地・会場	名 称	主催団体及び内容
09.11.04-05	東京工業大学百年記念館 (東京都・目黒区)	第72回技術講習会 騒音対策の基礎と考え方	日本騒音制御工学会 http://www.ince-j.or.jp/
09.11.11-12	東京電業会館地下ホール (東京都・港区)	第50回秋期ゴム技術講習会 産業界の変革のなかのエストマ-技術	日本ゴム協会 http://www.srij.or.jp/
09.11.12-13	東京電機大学神田キャンパス (東京都・千代田区)	第108回技術講習会 デジタル信号処理の基礎	日本音響学会 http://www.asj.gr.jp/
09.11.13	東京理科大学森戸記念館 (東京都・新宿区)	第8回衝撃工学フォーラム 初心者のための衝撃工学入門	日本材料学会 http://www.jsms.jp/
09.11.13	ハートピア京都 (京都市・中京区)	第32回材料講習会 ポ-ラス材料の特徴と力学特性	日本材料学会 http://www.jsms.jp/
09.11.16	土木学会2階講堂 (東京都・新宿区)	第17回鋼構造基礎講座 鋼橋の耐震設計-その歴史変遷、海外・ 他分野との比較から最新情報まで-	土木学会 http://www.jsce.or.jp/
09.11.18	東京大学本郷キャンパス (東京都・文京区)	講習会 ブレイクスルーを生み出す次世代アクチュエータ	日本機械学会 http://www.jsme.or.jp/
09.11.18-20	同志社大学寒梅館 (京都市・上京区)	第30回 超音波エレクトロニクス の基礎と応用に関するシンポジウム	日本音響学会 http://www.asj.gr.jp/
09.11.21-22	大阪大学豊中キャンパス (大阪府・豊中市)	第52回自動制御連合講演会	日本機械学会 http://www.jsme.or.jp/

◇技術情報

研究機関のご紹介

岡山県工業技術センター

岡山市北区芳賀5301

電話：086-286-9600 (代表)

<http://www.pref.okayama.jp/sangyo/kougi/index.html>

研究開発部 計測制御グループ 真田 明

(裏面へ続く)

岡山県工業技術センターは大正7年に設立され、地域産業の中核的技術支援機関として、鉱工業分野の先導的技術開発や産学官共同研究に取り組むとともに、企業ニーズに基づく技術相談や研究・試験などを行っております。平成7年に移転した現在の場所は、JR岡山駅と岡山空港の中間付近、岡山インターチェンジから車で5分の位置にあります。

音響関係の主な設備としては、無響室（6.6m×4.4m×5.2m）、残響室（251.3m³）とそれに関連した計測器があります。これらの設備を用いて、残響室法吸音率、垂直入射吸音率（音響管による計測）、インテンシティ法音響透過損失、騒音レベル、音響パワーレベル、音源探査などの計測が可能です。私どもの音響関係設備はJISなどの規格に完全に適合した試験はできませんが、製品の研究開発時での評価を想定したものであるため、音響材料開発や装置の低騒音化などに十分活用していただけのもと思います。ご利用の形態としましては、設備をお貸しする「設備利用」と「依頼試験」があります。

振動関係の主な設備としては、振動試験装置があります。加振力16kN、正弦波、衝撃波およびランダム波による試験が可能です。また、恒温恒湿槽（-40℃～+150℃）が付随しており、電気・電子部品、自動車部品などの複合環境試験も可能です。

利用料金などについては、ホームページをご覧ください。直接お問い合わせください。

その他に、私どもでは研究にも力を入れており、壁面の透過音を能動的な制御によって抑制するアクティブ遮音制御技術や積層型吸音材の最適設計法、共鳴形吸音パネルの広帯域化、機器の振動予測の高精度化などに取り組んでおります。また、企業との共同研究として、装置の低騒音化、音響解析なども行っております。お気軽にお問い合わせください。

事務窓口	〒101-0061東京都中央区銀座 2-10-18 社団法人 日本合成樹脂技術協会
	Tel. 03-3542-0261 Fax. 03-3543-0619
	URL http://www.sdt-jp.com E-Mail: sdt@mbi.nifty.com